



# 旬の風 200号 (2018年12月)

旬の風が始まって、もう、16年たつのですね。

初めの頃は、ずっと私が書いていました。

今ではメンバーが順ぐりに旬をメインに、自分の思ったことや感じたことをつづってくれるようになりました。

その旬も、来年30周年を迎え、記念のイベントを若い人たちが中心になって考えてくれています。



38歳の若かった私が、11人の仲間と共に「えいっ！」とばかりに始めた事業です。

気が付くと、当時の仲間は私ひとりに。

でも、脈々と旬の想いがつづき、今は25人。

私गतたとえ去ったとしても、この人達なら、また新しい旬を見せてくれると確信しています。

さあ、次の時代に一緒に進んでいきましょう。

もちろん、お客様とともに ( S I )

## メニュー担当者からの一言

テレビや新聞で話題になると、

街のスーパーから一斉に食材が無くなることもあるそうです。

食べて元気になりたいと願うのが人の道理ですものね。

でも、もう一度、情報ではなく、自分の体の声に耳を澄ませてみませんか。

自分の体は自分のもの。

食べる食べないを含め、思いのままにすることが、

一番ストレスを感じないといえます。

人間も自然の一部だからでしょうか。

冬の野菜は、体を温める食材が多い、こちらも自然の道理にかなっています。

ということで、今月も旬のお弁当は根菜が多いメニュー。

どうぞ召し上がれ。